

全日本病院協会 会員病院
各 位

公益社団法人 全日本病院協会
会 長 猪口 雄二
医療の質向上委員会
委員長 今村 康宏

「DPC分析事業 MEDI-ARROWS IIIrd」 無料テストユース募集のご案内 ～2025 年 1 月リリース新機能のご案内～

平素は当協会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、MEDI-ARROWS IIIrd にリニューアルした直後から参加病院の意見・要望を取り入れる
事で、更に使い勝手も向上しております。
今回、以下の新機能を追加したのでご案内いたします。

【2025 年 1 月リリース新機能】

●新たに「入院基本料別 収支構成要素分析」画面を追加！！

地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟といった入院基本料の区分別に、
自院・他院の疾患構成、単価/包括金額等の情報を提示する機能を追加しました。
(画面イメージは P. 2～3 参照)

会員病院の皆様方には是非、**無料テストユース**をこの機会にご体験ください。(申込から使
用開始まで約 2 週間、お試し期間は 2 か月)。

<MEDI-ARROWS IIIrd テストユース申込方法>

参加を希望される場合は全日本病院協会 HP の
「DPC分析事業」のページよりお申込みください。
<https://www.ajha.or.jp/hms/dpc/index.html>

DPC分析事業



(お申込・お問い合わせ先)

公益社団法人 全日本病院協会事務局 DPC分析事業担当
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 1-4-17 東洋ビル 11F
TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444 E-mail dpc@ajha.or.jp

2025年1月リリース新機能の概要

※表示されている画面は新機能の一部です(2025年1月時点)。詳細は当協会HP「<https://www.ajha.or.jp/hms/dpc/index.html>」参照。

【急性期以外】入院基本料別 収支構成要素分析 (単価等統計情報/疾患構成)



入院基本料の区分別に、自院・他院における入院単価や在院日数等の統計情報を表示します。
また、自院・他院における疾患構成 (MDC2桁/DPC6桁) を円グラフで表示します。

入院基本料別 収支構成要素分析 (単価等統計情報/疾患構成)

更新情報
病棟機能
手術実績
在院日数
患者数
医療関係数
DPCコーディング整合率
看護必要度
指導料・加算
届出・公表用データ集計
代替薬品

入院基本料別 収支構成要素分析

対象年月: 2024年8月 ~ 2024年8月 | 疾患: すべて | 地域: すべて | 病床規模: 下限なし ~ 上限なし | 病棟群

以下のボタンで参照する入院基本料を選択します。

地域包括医療病棟 | 地域包括ケア病棟 | 回復期リハビリテーション病棟 | 療養病棟 | 緩和ケア病棟

【入金基本料】

- ・ 地域包括医療病棟
- ・ 地域包括ケア病棟
- ・ 回復期リハビリテーション病棟
- ・ 療養病棟
- ・ 緩和ケア病棟

CSV出力 | ヘルプ | データ抽出条件設定

単価等 統計情報

	自院	他院		
		25%タイル値	中央値	75%タイル値
入院単価	42,263円	30,737円	35,590円	42,263円
在院日数 (1症例あたり)	8.0日	4.4日	6.3日	8.0日
包括される行為金額 (1日あたり)	19,444円	14,141円	16,374円	19,444円
包括される行為金額 (1日あたり)割合	46.0%	46.0%	46.0%	46.0%
薬剤・材料費 (1日あたり)	3,887円	914円	2,595円	3,887円
薬剤・材料費 (1日あたり)割合	9.2%	3.0%	7.3%	9.2%

疾患構成

MDC2桁

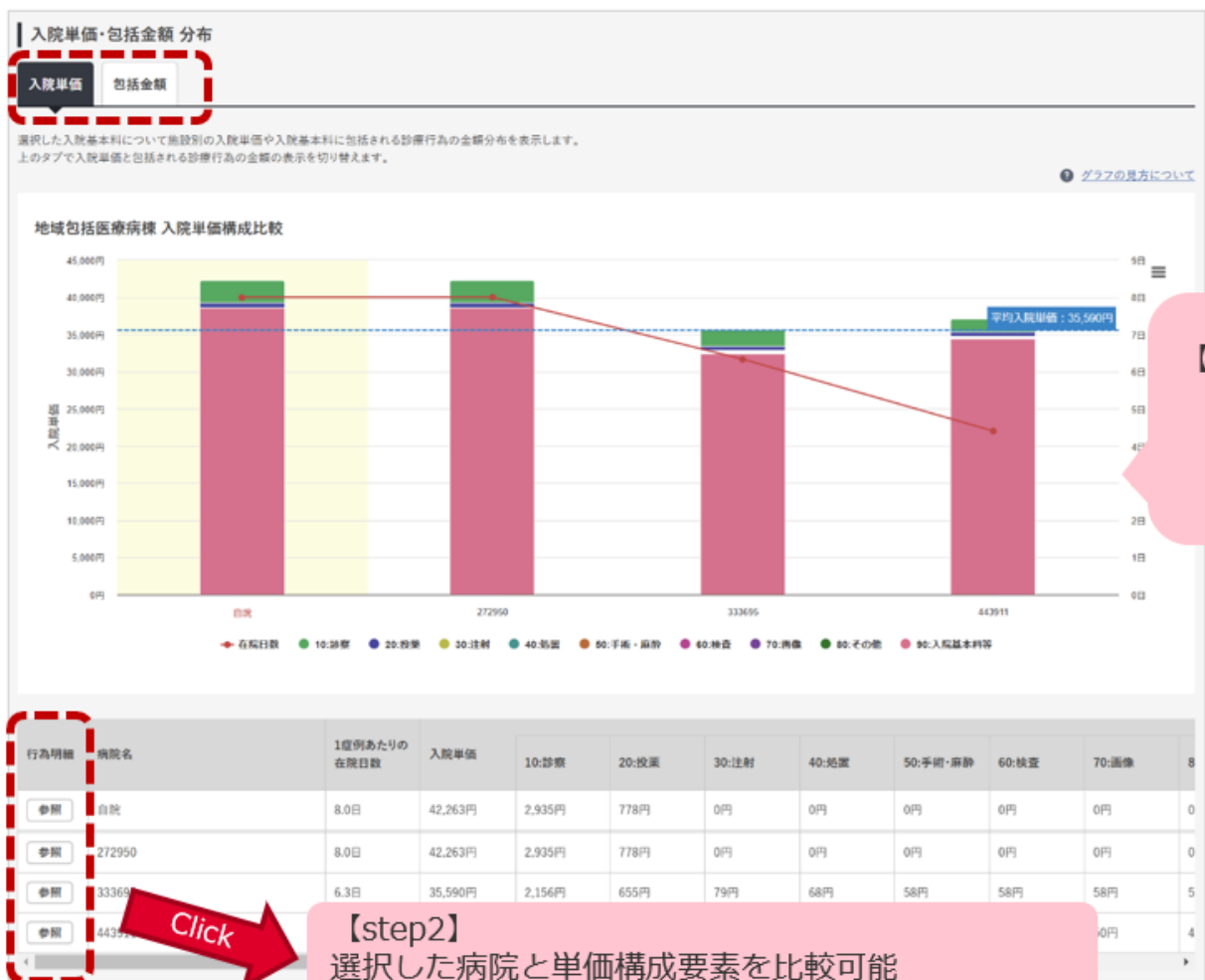
自院 | 他院(1施設)

① グラスの見方について

【急性期以外】入院基本料別 収支構成要素分析（入院単価・包括金額 分布）

入院基本料の区分別に、自院・他院の入院単価または包括金額を、単価が高い順/包括金額が低い順に表示します。また、自院と当該施設の単価構成要素の詳細比較が可能です。

入院基本料別 収支構成要素分析（入院単価・包括金額 分布）



【step1】
入院単価や入院基本料に含まれる診療行為の金額分布を可視化。収支差異の原因特定が可能



【step2】
選択した病院と単価構成要素を比較可能

全日病DPC分析システム（MEDI-ARROWS IIIrd）について

1. 導入・使用料（税別）・サービス一覧

利用開始月から3月末日までの年間利用となります。利用開始翌年度からは、年度更新となります（年度途中の参加の場合、初年度は参加月から年度末までの月割となります）。

病床数 (総病床数)	フルパッケージ版		Lite版	
	初期費用	利用料（年）	初期費用	利用料（年）
0 ～ 200	※ 価格については全日病事務局へお問い合わせください。			
201 ～ 300				
301 ～ 400				
401 ～ 500				
501 ～				
機能範囲	定型機能、自由分析機能		定型機能	
標準ライセンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定型機能：20ライセンス（上限） ・ 自由分析機能：3ライセンス（閲覧権限） 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 定型機能：20ライセンス（上限） 	
(追加ライセンス)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由分析機能（1追加）：①閲覧権限、②作成権限 ※ 価格については全日病事務局へお問い合わせください。 		-	
標準データ量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去4年分+当該年度 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lite版からフルパッケージ版に移行する場合、病床数に応じた初期費用並びに利用料が発生します。 ・ 操作説明会は初期費用内に含まれます。（開催方式：集合研修 or Web、開催時期：10月中～下旬） 			

2. 新たなサーバー機器の設置が不要

MEDI-ARROWS IIIrd クラウド環境を利用し、サービス提供をしております。病院内に新たにサーバー機器を設置する必要はありません。既にインターネット回線をお持ちであれば、新たに回線を用意する必要もありません。

3. 新たなデータの用意が不要

厚生労働省へ提出されているDPC調査データのみ使用するため、新たにデータを用意する必要はありません。

4. 診療情報分析

経営指標（収入、症例数、紹介率、看護必要度基準）や、臨床指標（平均在院日数、手術実績、ジェネリック使用率）など、よく使われる指標の分析画面を装備しております。見たい箇所をクリックし、簡単な操作で分析ができます。

5. 自由分析（※フルパッケージ版のみ）

MEDI-ARROWS IIIrd は、他院事例や各種指標を自由にダウンロードして二次利用を可能にしています。また、分析代行サービスの提供も行っているため、分析時間が十分に確保できない、分析に不慣れな方へも十分なフォロー体制を整えております。

<全日病DPC分析システム（MEDI-ARROWS IIIrd）の主な特徴>

1. 誰でも経営課題をパッと把握 経営指標ロジックツリーで経営状況を可視化。ベンチマークで課題を一目で把握可能です。
2. 改善効果をパッとシミュレーション ベンチマークを基準にカンタンに目標設定。各指標への影響も考慮し改善効果を予測します。
3. 病院独自のレポートをパッと作成 必要なデータ、グラフ形式をクリックするだけで、カンタンに病院独自のレポートを作成する事が出来ます。

分析未経験者でも
経営分析のスペシャリストへ導く

誰でも

簡単に

高度な
経営分析

1. MEDI-ARROWS IIIrdは進化しています！

～診療報酬改定、制度改正、ユーザーの要望に対応～

※年4回アップデート予定、以下はリリースした機能の一例です。

1. 看護必要度分析 (2024年7月リリース)

看護必要度分析						
【看護必要度を満たす患者割合(2024年度7対1用)						
※対象年月が2024年6月以降の期間を対象に算出します。 看護必要度Iは許可病床数200床未満かつ看護必要度IIによる評価が困難であることに正当な理由がある場合のみ適用可能です。						
	基準①		基準②		判定	
ア	イ	ウ	エ	オ	基準①	基準②
入院患者延べ数	A3点以上、C1点以上の入院患者延べ数	当該患者割合(イ/ア)	A2点以上、C1点以上の入院患者延べ数	当該患者割合(エ/ア)		
看護必要度I	28人	80.0%	29人	82.8%	○ (基準値:21%)	○ (基準値:28%)
看護必要度II	11人	31.4%	17人	48.5%	○ (基準値:20%)	○ (基準値:27%)

判定基準①、②それぞれの患者割合と判定結果を表示します。

2024年度7対1用の判定基準①、②のそれぞれの患者割合と判定結果の表示、達成状況を病院全体・病棟別にモニタリングする事が可能。

2. 病棟機能別ダッシュボード (2024年7月リリース)



病棟種別(急性期・地域包括ケア・回りハ等)ごとに経営指標を算出のうえ、過去実績との比較結果をロジックツリー形式で表示することが可能。

2. ユーザー会を年4回開催！

病院でMEDI-ARROWS IIIrdを使用しているユーザーが多数参加しているので、他院の活用方法を知ることができます。また、MEDI-ARROWS IIIrdの開発スタッフも参加しているので機能の使い方、追加して欲しい機能について直接、質問・要望が可能です。

【2024年度 開催実績 (開催時期：テーマ)】

2024年04月：診療報酬対策『使い方講座』

2024年06月：新任担当者向け『はじめて講座』

2024年10月：『はじめて講座～その2 自由分析編～』

2025年01月：病院活用事例発表